

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第46号

## ななえ古写真物語

VOL. 46

### 昭和の大沼

カラカサ山からの遠望？

昭和初期

大沼公園駅前



「十年一昔」とは、世の中の移り変わりの激しさを例える四字熟語で、10年という年月をひとつの区切りとして、それ以前は昔のこのように思われることを表しています。

確かに、少し見ない間に新しい建物が建っていたり、今まであった建物が無くなってしまったり、「あれ、ここに何があったんだろう？」と、思い起こすのに一苦労することがある。そういった意味で、このコーナーで紹介している古写真のもつ史料価値は、町の足跡を記録していく上で、非常に高いということを執筆の度に再認識します。

今回紹介するのは、昭和初期の大沼公園駅前の様子になります。一番奥に見える山は横津連山で、その手前の右側に見えるのは吉野山と呼ばれる山と思われます。その麓には平野が広がり、民家らしき建物がポツポツと見える程度ですが、下側に写っている大沼公園駅前は建物が密集して、とても賑わいを見せている様子が伺えます。

高い位置から横津岳方面を写しているこの構図から推測すると、カラカサ山の上、もしくは、ピチャリ22号で紹介した「大沼展望塔」から撮影したものではないかと考えています。

さて、そうなるこの写真が撮影された年代は昭和6年～20年ということになり、この当時は、大沼公園駅前の通り沿いには、民家が密集しているものの、その後ろは谷地のような場所で、開発が進んでいなかったこともわかります。

なお、幸いにもこの写真のほかにも、当時の大沼に住んでいた方が記した手書きの地図が残されていたため、よりこの風景について知ることができました。

例えば写真中央左側に、構図から半分切れた建物が写っていますが、これは景雲寺という寺で（現在の位置とほとんど変わっていません）、その下には火の見櫓の梯子が、右側には石碑があり、この周辺は谷地だったと記されています。建物が密集している部分についても、食堂や宿、個人宅（人名も書かれている）がどのような順番で並んでいたのか記されており、地図によって具体的に当時の様子を推測できました。

地図というものを併用することで、古写真の持つ史料価値が格段に上がることも再認識した一枚。もし、まだ見ぬ古写真をお持ちの方がいましたら、是非、当館までご一報を・・・。

**7日** 夜の博物館では【ななえの花弁】について、当館学芸員が古文書などから草花の歴史を解説しました。江戸時代のななえにあった「御薬園」では、薬草など約250種を栽培していたという記録もあり、少なくとも江戸時代には花卉栽培が行われていたということです。



遅くまでお疲れ様でした



色が出てきた!



**24日** ジュニア探検クラブで、歴史館の周りで見つけられる草花を使って、草木染めに挑戦しました。色が出やすいクサギ・ヤマボウシを紹介すると、クサギに人気集中し、数本のクサギを囲んでひたすら摘み取っていた子どもたち…。クサギ、ヤマボウシ、用意していたマリーゴールドでさらしを染めました。輪ゴムでしばって模様をつけたので、オリジナル! また、ミョウバンや木酢鉄で媒染すると色の違いはあるのか実験もしました。大きく色が変わって「えー! なんで??」とびっくりしていました。

**25日** 親子体験教室で、たむらリンゴとニュートンりんごを使ったリンゴピザ作りをしました。生地から手作りし、リンゴとチーズとグラニュー糖をトッピング。もちもちの生地をこねたり、丸く広げていく子ども達は楽しそう! そして...意外や意外?! リンゴとチーズの組み合わせが、おいしいスイーツピザに変身したのでした。



美味しく完成!

## ニュートンリンゴジャムを販売しています。

今月14日より、当館の屋外展示で育成している「ニュートンリンゴ」を使ってジャムを作製いたしました。60個限定、お一人様1ビンを上限に、300円(1ビン約90グラム)で販売しています。酸味を生かして、甘酸っぱい味に仕上げました。

なお、たむらリンゴジャムは完売いたしました。ありがとうございます。



11月の休館日はありません。

### 学習サービス室には…

実はあまり知られていない? 話をご紹介します。学習サービス室の絵が飾ってある下の棚には、草花や蝶の標本が入っています。ご自由にご覧くださいね。(A)



### 編集後記 ~tawagoto~

さむい! 寒い!!! さむーい!!!! 10月に入った途端に寒い! しかも、この頃の雨は雷を伴うことが多いような気がする。先日も文化財の整備で史跡看板の色塗りをしている最中に突如の大雨……。いや、本当に勘弁してくださいよ、私の雨男ぶり。雨にあたるのは別に慣れているからいいんだけど、折角塗ったペンキが台無しになってしまうじゃないですか。と、天に文句を言ってみたが、相変わらず冷たい雨は降り注いで来る昨今。(やまだひさ)

**Richart** ~ピチャリ~

第46号

平成23年10月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp